



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2022年12月28日



コロナワクチン職域接種

組合では11月に5日間の日程で、4回目となる新型コロナウイルスワクチン接種では一方通行の動線を確保し、換気を行うなど三密を回避。マスク着用や手指消毒など感染防止対策を徹底して行われた。これまでも同様、村上新町病院の協力で医師や看護師を手配し、スタッフも事務局職員に

高知県の卸団地などを視察 国内経済視察会

組合では、11月17日から19日までの3日間、国内経済視察会を開催した。今回は西理事長を団長に組合員ら11名が参加し、高知県の卸団地などを視察した。

初めに訪れた高知卸商センター(協)は、卸団地内に葛屋書店やニトリなどの大型小売店に加え、産直施設や衣料品店、飲食店など一般客向けの施設が多数ある全国でも珍しい卸団地であった。



高知卸商センター

高知県の卸団地などについて、最大標高が1455mあるため「雲の上の町」と呼ばれている。町内には新国立競技場の設計を手掛けた建築家隈研吾氏が設計した建物が町庁舎をはじめ6カ所もあり、町内産木材がふんだんに用い



隈氏が設計した梶原町立図書館

そのほか視察団一行は、全国のトヨタ販売店の中で顧客満足度日本一を13年連続で達成し、日本経営品質賞を受賞したネッツトヨタ南国(株)などを視察した。

4回目のコロナワクチン 職域接種が無事終了

組合では11月に5日間の日程で、4回目となる新型コロナウイルスワクチン接種では一方通行の動線を確保し、換気を行うなど三密を回避。マスク着用や手指消毒など感染防止対策を徹底して行われた。これまでも同様、村上新町病院の協力で医師や看護師を手配し、スタッフも事務局職員に

青森産業会館で3年ぶりに大農林水産祭開催

卸団地にある青森産業会館において11月12日(土)・13日(日)の2日間、津軽海峡交流圏大農林水産祭が開催された。当イベントはコロナ禍により開催が見送られてきていたが、このたび3年ぶりの実施となった。



産業会館で開催された大農林水産祭

今年度の問屋町内除排雪作業の委託業者など承認

第7回理事会

11月28日(月)に第7回理事会が開かれ、全て原案どおり承認された。

また、事務局からコロナワクチン職域接種や問屋町100日ウォーキングの結果などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一：環境対策委員会からの意見について
問屋町内除排雪作業の委託業者や木製パレット等リサイクル回収の収集日変更などについて承認された。

案件二：組合管理施設解体資金等の借入について

案件三：組合員跡地買取資金等の借換について

案件四：第56回通常総会の日程等について

案件五：2022年度第8回理事会の日程等について

理事会終了後には青森問屋町配送(株)の第2回取締役会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

問屋町内の交通事故防止に向けて対策を協議
問屋町交通診断

青森交通安全協会問屋町支部(工藤支部長)では、11月15日(火)に問屋町会館2階

大会議室において問屋町交通診断を開催した。

同診断は卸団地内や周辺道路などの交通事故防止対策を協議するもの。交通診断での協議の結果、関係機関から多くの協力が得られ、アスファルト舗装の補修や道路標示の塗り直し、歩行者用信号機の

新設など、様々な事故防止対策が講じられてきた。

今回の診断には関係機関である青森警察署、国、県、市の各担当官を招き、問屋町支部会員30名が参加。今年度も

コロナウイルス感染症対策としてバスによる現地視察は行なわず、交通事故発生の恐れのある箇所の現況の写真等をスライドに表示して協議を進

めた。

今年度は問屋町東口及び第二問屋町北口交差点、八ッ役五又路交差点の安全対策などを協議。また、昨年度冬期間に交通事故が多数発生する要因となった交差点の大量積雪

と別途協議を行った。

また交通診断終了後には、事故多发交差点である青森中央IC前交差点における交通事故対策について、関係機関

と別途協議を行った。



問屋町交通診断



現況の写真をスライドに表示

中央学院大生が組合を見学

11月18日(金)と25日(金)の2日間、青森中央学院大学の学生が企業見学として当組合を訪れ、組合事務局の小田切業務部長らが流通業や卸売

業、問屋町について説明した。

この企業見学は青森中央学院大学1、2年生のキャリアプランニング授業の一環として行われ、毎年様々な企業を訪問して実社会の経済活動を

体感するプログラムとなっている。

当日は経営法学部の1、2年生約40名が参加し、普段、

直接的な関わりが少ない流通業や卸売業について理解を深

めていた。

問屋町簡易郵便局
新規パート採用のお知らせ

▽新規採用
簡易郵便局担当 齋藤 誠治
(2022年11月16日付)

県内の卸団地が交流
県団地協議会総会職員研修会

青森県内5卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会の第36回通常総会が11月24日(木)、ホテル青森で開催された。

県内各地の卸団地から20名が出席して行われた総会では、西会長(協青森総合卸センター理事長)が議長に選出され、審議の結果、全て原案どおり承認された。

総会後には懇親会も開催され、各卸団地の近況報告等が語られるなど活発な情報交換がなされた。

また、11月4日(金)には



第36回通常総会



女子職員研修会



学生の企業見学を受け入れ

問屋町簡易郵便局
新規パート採用のお知らせ

▽新規採用
簡易郵便局担当 齋藤 誠治
(2022年11月16日付)

フードビジネスの明日を切り開く

食品総合商社



昭産商事株式会社青森支店

青森市問屋町2丁目15-9
電話 (017) 738-4514



株式会社 技研

技研の社是である「技術を研磨」をイメージし、磨けば光ると言われるダイヤをモチーフに設定。上半分を「未来・希望・成功」の3つの光、下半分を「実績・信頼・挑戦」の3つの道として表現しています。

本社 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町3丁目3番15号
TEL 017-757-9980 FAX 017-757-9981
盛岡事務所 〒020-0011 岩手県盛岡市三ツ割1丁目9-8 SRビル203
TEL 019-658-9486 FAX 050-3424-3026
青森工場 〒039-2312 青森県上北郡六戸町大字下吉田字赤田15番地の1
TEL 0176-70-1088 FAX 0176-55-3909

問屋町たんしん

【2023年組合員新年会】

①日時 2023年1月6日

(金) 午後6時

②会場 ホテル青森

3階「孔雀の間」

③会費 お一人につき

3200円(税込)

業務報告

…主要事項…

11月
1日▽安協問屋町支部第4回街頭指導

2日▽新型コロナウイルスワクチン職域接種(1日目)

4日▽県流通団地連絡協議会第1回団地組合女子職員研修会

5日▽新型コロナウイルスワクチン職域接種(2日目)

6日▽新型コロナウイルスワクチン職域接種(3日目)

9日▽新型コロナウイルスワクチン職域接種(4日目)

12日▽問屋町支店長・所長連絡会第2回幹事会

15日▽金融審査会

▽安協問屋町支部問屋町交通診断

17日▽国内経済視察会(19日)

18日▽青森中央学院大学企業見学(1日目)

22日▽第14回フラーワーアレングジメント教室(男性限定)

24日▽第2回環境対策委員会

▽北日本流通ヴァン(株)第2回取締役会

▽県流通団地連絡協議会第1回理事会・第36回通常総会

25日▽青森中央学院大学企業見学(2日目)

▽第46回問屋町ボウリング大会(1日目)

28日▽第7回理事会

29日▽問屋町経営同友会第34回会員交流会

…問屋町ビジネススクール…

9日▽営業初心者戦力化セミナー(3つのポイント編)

10日▽経営相談会(第9期)

16日▽新任管理者研修(18日)

22日▽「相談」対応スキル向上セミナー

24日▽基礎から学ぶ年末調整研修①

29日▽基礎から学ぶ年末調整研修②

経済雑感 第三三回

青森中央学院大学 経営法学部 教授 竹内 紀人

前号に引き続き、青森中央学院大学の竹内教授による経済雑感をお送りする。英国の著名な辞書が選んだWorld of the Year 2022(日本でいう「今年の流行語大賞」)は、「Permacrisis」だそう。長期間にわたる危機。言うまでもなく、紛争が続く世界情勢、コロナ・パンデミックの継続、資源不足等に起因する世界経済のふらつき、さらには気候変動による深刻な自然災害などを包含している。日本の私たちにもなるほど

と思わせる言葉だ。こうした混乱の時代には、先行きを見据え、変化への対応をしっかりと考えることができる人材が不可欠である。しかし、「そんな人材は青森にはいない。そんな素晴らしい人材はウチのような会社を選んできれない」と皆さんは言う。確かに、最初から「変化と対策」を考え、「同僚や上司と建設的な意見を交わし」、「自ら動ける」人材はいないだろう。しかし、できそうな人材を集め、見抜き、教育する方法は、私たちが考えるべき事案である。例えば、自社の存在意義を「見える化」し、プレゼン資料を工夫することで、学生の



青森中央学院大学 経営法学部 教授 竹内 紀人氏

興味は確実に向上させられる。今の学生は物を知らない。企業名ですら、自分が興味を持つていない一部の全国ブランドと、地元の小売、金融、メディアなど、よく見かけない会社しか知らない。逆に、存在意義とか、社会貢献には感度が低いので、しっかりと伝えれば、それに応じたリアクションは生まれる。

採用に当たっては、事前対策で何とでも言える「志望動機」はもはや重視しない企業も多い。限られた面接時間で確かめたい資質や適合性は、学生時代に力を入れたこと(ガクチャ)などを介した双方向の会話の中にある。それも、何をやってきたかを聞くだけでは不足だ。人事担当者は上手に質問をしながら価値基準を探る技術や、その場でさりげなく学生に気づきを与える手法などを磨くべきである。その前に最も有益な方法がある。インターンシップを活用して就活生の素顔を知ることだ。暗記対策ではどうしようもない実力テストができる利点がある。また、実力テストに自ら興味を持ってきてくれる学生は、御社にとって必要かつ鍛えがいのある学生である可能性が高い。人間と人員を割いてでも、インターンシップ・プログラムを企画し実施する効用は計り知れないものがあると思う。

(未完)

～明日のエネルギー環境を創る～

ボイラー・空調機器等の

アイ・シー・サービス株式会社

据付・修理・計装・保守サービス

〒030-0131 青森市問屋町一丁目12番2号

本社 TEL 017-738-7788

和田(営) TEL 0176-22-9202

十(営) TEL 0175-31-1191

建設機械 販売/リース/サービス

株式会社 ほくと

代表取締役 川村 雄藏

青森支店 〒030-0112 青森市第二問屋町三丁目11-16

Tel.017-739-5771(代) FAX.017-739-5723

(URL) <http://www.hokuto.com>

研究分野の試薬・消耗品・機器トータルソリューションを提供する

東北化学薬品株式会社

バイオインフォマティクス
臨床検査試薬
化学工業薬品
農業資材
食品

本社 TEL: 0172-33-8131 FAX: 0172-33-6800

八戸支店 TEL: 0178-45-2328 FAX: 0178-44-7629

青森支店 TEL: 017-738-4453 FAX: 017-738-0278

東京支店 TEL: 03-9866-9777 FAX: 03-3866-9735

仙台支店 TEL: 022-345-4870 FAX: 022-345-4495

秋田支店 TEL: 018-824-1201 FAX: 018-824-1166

岩手支店 TEL: 019-688-2771 FAX: 0197-68-2440

山形支店 TEL: 0237-47-9868 FAX: 0237-47-0285

大船営業所 TEL: 0186-45-9568 FAX: 0186-45-0570

鶴岡営業所 TEL: 0235-24-9786 FAX: 0235-24-9875

米沢営業所 TEL: 0238-24-7662 FAX: 0238-24-7667

盛岡営業所 TEL: 019-601-7533 FAX: 019-645-8911

むつ小川原営業所 TEL: 0175-73-2271 FAX: 0175-73-2272

福島営業所 TEL: 024-597-8102 FAX: 024-597-8103

生命システム情報研究所 TEL: 019-691-7534 FAX: 019-645-8911

東北化学薬品株式会社

TEL 0172-33-8131 FAX 0172-33-6800

<http://www.t-kagaku.co.jp/>

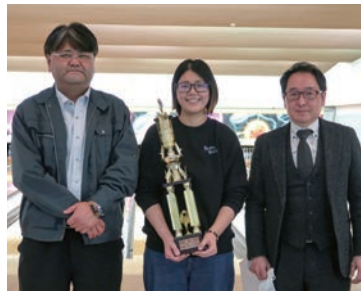
TOHOKU CHEMICAL CO., LTD.

〒036-8655 弘前市大学神田一丁目3番地の1

第46回ボウリング大会

第46回問屋町ボウリング大会が11月25日(金)と12月2日(金)にアオモリボウルで開催され、15社から93名が参加した。今回も昨年同様、コロナ感染防止対策により密を避けるため、参加チームを2日間に分けて行われた。

大会は1チーム3名の団体戦と個人戦が行われ、2ゲームのトータルスコアで順位が決定される。団体戦では(株)青森新生活互助会チームが優勝を果たした。個人戦男性の部の優勝者は(株)吉田産業の福士克夫氏、女性の部は同社の蝦名えりか氏が個人3連覇の偉業を達成した。



団体優勝の青森新生活互助会チーム

同大会ではスコア上位者以外でも獲得できる特別賞を多数用意。12月9日(金)に問屋町会館で行われた表彰式では、江渡労務対策委員長から入賞者へ賞品が手渡された。参加者はたくさん賞品を手にし、笑顔で持ち帰った。

フラワーアレンジメント教室

組合の恒例イベントとなっているフラワーアレンジメント教室が、「いい夫婦の日」にちなんで11月22日(火)に男性限定で開催された。問屋町会館2階で行われた同教室には組合員従業員23名が参加した。フラワーアレンジメント教室は花の普及を目的に青森県花のくにづくり推進協議会の協力のもと開催され、今年で8年目となる。

参加者は講師の説明を聞きながら、1時間ほどで作品を完成。持ち帰ったフラワーアレンジメントはパートナーへ贈られた。

参加者は「毎回参加してお



フラワーアレンジメント教室

り、最近では妻から、そろそろじゃない?と待ち焦がれられるようになった」と笑顔で感想を語っていた。

また、12月8日(木)には男女不問の同教室が開催され、組合員の女性従業員を中心に34名が参加した。

新支店長に聞く

今回は、今年9月に(株)商工組合中央金庫青森支店に赴任された、深道支店長にお話を伺った。



(株)商工組合中央金庫 青森支店 支店長 深道 英明 氏

として①情報サービス・人財サービス・高度金融サービスの総合的な課題解決力強化を目的とするサービスのシフト、②スタートアップ支援、サステナブル経営支援、事業再生支援の3つの分野を積極的強化していく差別化分野の確立、③環境変化に強い組織づくりを行う企業変革に取り組めます。当金庫の安定的な経営基盤を維持していく

ためには、組合の活性化支援を通じて関係の維持・向上は不可欠だと考えています。特に地域再生、産業構造再構築支援等の取組みに際しては、組合の組織化機能の活用が有効であり、効果的な連携を図ってまいります

「まず、新地での目標を尋ねると「まずは県や市といった地方公共団体、経済団体、地域金融機関などの皆様と連携し、青森経済の発展に貢献したいと思っています。その中でも当金庫の特色でもある全国展開を活かしたビジネス、マッチング、体制を強化しているサステナブル経営支援に積極的に取り組みたいです」とアピール。

青森の第一印象は「津軽平野の壮大さ、岩木山や八甲田山、青森湾と陸奥湾の景観など自然の美しさに圧倒されました。また問屋町においては入口に配置されている看板のデザインがお

座石の銘は「守破離という言葉で、まずは基本の型を大切に、その中で自分を活かせるものを選択しながら、最後に自分の個性を加えていくことを心がけています」と締めくくった。(47歳)

洒落だなと感じました。組合員の皆様もとても仲が良く、問屋町全体を盛り上げる意識が非常に高いと思いました」と話す。

プライベートに話が及ぶと「大学までサッカーを続けていました。本当はラグビーが大好きでラグビー部に入りたいことを夢見ていましたが、危険だからと反対されて諦めました。今でもラグビー観戦は大好きです。また温泉県大分育ちなので、朝から温泉に入ることに幸せを感じます」と笑う。

編集後記

4回目となる新型コロナワクチンの職域接種が無事に終了しました。医師及び看護師を派遣いただいた村上新町病院様から感謝申し上げます。

今回はインフルエンザ集団予防接種の翌週に新型コロナ職域接種を行う強行スケジュールとなりました。これが実施できたのは、しっかりと準備して運営した事務局スタッフあつてのこと。頼もしい限りです。さて2022年度の組合事業は、ここまでではほぼ予定どおり実施することができました。さすがに大規模かつ飲食を伴う納涼パーティーは実施できませんでしたが、コロナ禍で中止していたゴルフコンペや合同交流会は3年ぶりの開催となりました。ようやく通常モードに戻ってきたという感じです。▼イベントの再開に関しては、やはり青森ねぶた祭の復活が大きかった。ねぶたがやれたのならこれでもきょうだ、と前向きな好循環が生まれたように感じています。来年のねぶた祭も楽しみです。▼新型コロナウイルスが世界を震撼させてからもうすぐ3年。最初の頃は未知のウイルスとどう向き合うのか手探りでしたが、現在はワクチン接種もかなり進み、経口薬も海外製のモルヌビラビルや国産のゾコバが開発されるなど、いろいろな対応策がとれるようになってきました。新年は明るいニュースが多いことを切に願います。(小田切)

入学生募集!

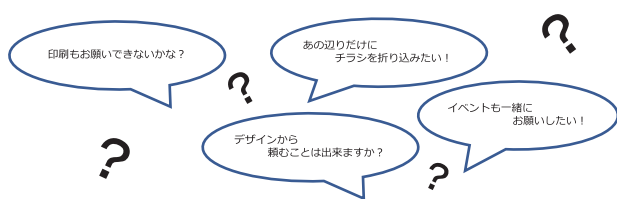
ICTのスペシャリストを育成!!

職業訓練法人 青森情報処理開発財団

おもりコンピュータ・カレッジ

青森市荒川字柴田129 TEL 017-739-1311

URL: http://www.acc.ac.jp



広告・印刷でお困りなら 北東北読売IS へ!!

〒030-0131 青森市問屋町1丁目5-12 TEL:017-718-5160 FAX:017-764-3840